

要 望 書

令和元年七月三日、「がんばろう！ 東北」をテーマにフォーラムを開催し、次の通り、要望事項を採択いたしました。
善処くださいますようお願いいたします。
令和元年八月六日

「東北の社会資本整備を考える会」

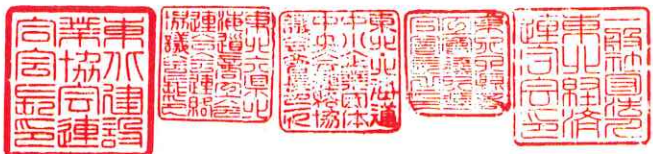
(一社)東北経済連合会会長 海輪 誠

東北六県商工会議所連合会会長 鎌田 宏

東北・北海道中小企業団体中央会
連絡協議会会長 今野 敦之

東北六県・北海道商工会連合会
連絡協議会会長 村岡 淑郎

東北建設業協会連合会会長 千葉 嘉春



東日本大震災から八年が経過し、「復興・創生期間」も終盤を迎え、元号も「平成」から「令和」となり、十年間の復興事業の総仕上げの時期へと移りつつあります。復興道路など基幹事業は順調に進捗し、「かわまちづくり」では、「いしのまき元氣いちば」との堤防一体空間や「かわまちてらす」閑上など被災地の復興が目に見える形で実感できつつあり、復興事業に携わっておられる方々の日頃のご努力に感謝を申し上げます。

「復興・創生期間」の終盤に入った本年、復興事業の確実な遂行に向け、私たちは、より一層のスピード感で復興の加速化を図り、地方創生のモデルとなるような復興を実現するために、今後一丸となって努力をしていかなければなりません。東日本大震災では、東北の高速道路網が「命の道」として大きな役割を果たし、避難通路や質的に強化した河川堤防が多く、湾口防波堤が津波の衝撃を緩和して街の被害を軽減させました。

大震災以降も、大阪府北部地震や北海道胆振東部地震、西日本を中心とした平成三十年七月豪雨により、甚大な被害が発生しています。私たちは、今後来るかもしれない首都直下型地震等の大災害に備えるためにも、この大震災で得られた数々の教訓が風化しないよう、次の世代に伝承する役割を持ってまいります。

自動車産業や半導体関連産業の集積、北海道新幹線の開業、観光復興の推進など、東北経済活性化の動きが加速しているなかで、社会資本整備全般をみれば、昨年八月の山形県最上地方における水害や一昨年の前線の豪雨による秋田県雄物川の水害等激甚化する気象災害、高度成長期に整備されたインフラの老朽化、人口減少、少子高齢化による地域経済活動の停滞、生産性の低下、担い手不足等の課題に直面しております。

更に、東北における太平洋側と日本海側の地域間格差も顕在化してきております。東北全体の復興及び持続的な発展を目指すためには、東北圏広域地方計画や東北ブロックにおける社会資本整備重点計画を踏まえつつ、すべての国民が安全に安心して暮らしていける強靱な国土をつくり、経済活動の生産性を向上させ、民間投資を誘発することにより、持続的で力強い経済成長を支えていけるよう、継続的な公共投資がこれからも必須であります。よって、次に述べる事項について、広くご理解を求めます。

- 一、被災地の復興に向けて、復興の確実な遂行のため、十分かつ確実な予算措置を講ずること。また、復興予算を除いて激減している東北全体の社会資本整備予算を戻すこと。
- 一、東日本大震災での教訓が風化しないよう産学官が連携して、伝承の取組を進めるとともに、今後も社会資本整備の役割について理解促進を図ること。
- 一、昨今の気象災害の激甚化等を踏まえ、防災・減災対策、国土強靱化対策の三ヶ年緊急対策の予算を確保すること。また、令和三年度以降も国土強靱化を推進するための制度を整えるなどにより、別枠で財源を確保すること。
- 一、生活やあらゆる社会経済活動を支える社会資本の老朽化が進む中で、人命と財産を守る観点から、社会資本の戦略的な維持・管理・更新等を推進すること。
- 一、「東北は一つ」の理念のもと、地域間格差を是正し、東北全体の経済活動が活発になるよう、高規格幹線道路など必要な社会資本の整備や日本海・太平洋二面活用の強化など、ストック効果が最大限発揮される取組を推進すること。
- 一、社会資本の整備・管理に加え、災害発生時の迅速かつ円滑な対応等のため、現場に必要な人員や体制の維持・充実に努めること。
- 一、人口減少下であっても持続的で力強い経済成長を促すため、働き方改革の推進等により、生産性を向上させるための支援策を講ずること。

令和元年七月三日

「東北の社会資本整備を考える会」